

水俣市の市民有志でつくる実行委員会が17日と31日の両日、ドキュメンタリー映画2作品を市もやい館で上映する。いずれも生き方や地域のあり方を問う作品で、実行委は「水俣の将来をどう描いていくか市民が考える機会にしたい」と話している。

## 地域のあり方問うドキュメンタリー

17日「森聞き」 31日「三池」上映



「若い世代が水俣の未来を考える機会にしたい」と話す、実行委員長の村田佐代子さん（水俣市）

# 水俣の将来 映画で考えよう

上映するのは「森聞き」（柴田昌平監督）と「三池」（終わらない炭鉱の物語）（熊谷博子監督）。

「森聞き」は、焼き畑や林業で暮らす人たちの人生や技を聞き書きする高校生4人の姿を描く。

「三池」は、元炭鉱労働者らの証言を交え、労働争議や炭じん爆発事故など三池炭鉱の歴史を記録した。

企画した久木野ふるさとセンター愛林館の村田佐代子さん（29）らは「水俣も山間部の高齢化が進む。まちづくりの議論が進む中、地元若者に考えてほしい」という。

上映は、「森聞き」が17日。「三池」は31日（午後6時半から熊谷監督が講演）。

いずれも前売り1200円、当日1500円、通し券2千円。高校生以下無料。愛林館 ☎0966（69）0485。

（辻尚宏）